



第6期幸区区民会議第11回専門部会 ～魅力発信でつなぐ まちの活性化部会～ 議 事 次 第

日時 2017年10月17日（火）18時半から

場所 幸区役所4階第1会議室

1 開会

2 議題

- (1) 区民祭におけるヒアリング調査の振り返り
- (2) 魅力の発信方法の検討
- (3) 提言内容の検討

3 その他

4 閉会

《配布資料》

- 資 料 1 「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュールイメージ
- 資 料 2 幸区民祭におけるヒアリング調査結果
- 資 料 3-1 魅力の発信方法についての意見交換シート
- 資 料 3-2 魅力の発信方法について
- 資 料 4 提言のとりまとめに向けた論点

参考資料 1 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて

参考資料 2 第10回専門部会（魅力発信でつなぐ まちの活性化部会）会議録

参考資料 3 第6期幸区区民会議委員・参与名簿

参考資料 4 発信する幸区の魅力について

《第11回専門部会（魅力発信でつなぐ まちの活性化部会）獲得目標》

- ・区民祭におけるヒアリング調査の振り返り
- ・魅力の発信方法の検討
- ・提言内容の検討

「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュールイメージ

年度	月日	会議名	会議の獲得目標
2016年度	7月28日	第1回区民会議	
	10月5日	第1回部会	・審議テーマの選定 ・正副部会長の選出 ・部会名の検討
	10月27日	第2回部会	・部会名の決定 ・今後の取組の方向性の決定
	11月24日	第2回区民会議	
	12月15日	第3回部会	・今後の調査内容、方法の確認
	1月31日	第4回部会	・地域資源の調査に向けた調査項目及び調査当日の役割分担等の決定
	2月27日	第5回部会	・第5回部会までに実施した調査実施状況の振り返り ・「第3回区民会議」報告内容等の検討
	3月21日	第3回区民会議	《調査審議状況の報告》
2017年度	4月25日	第6回部会	・地域資源の調査結果の検証① ・今後の調査についての確認①
	5月26日 (金)	第7回部会	・地域資源の調査結果の検証② ・発信していく地域の魅力についての確認① ・今後の調査についての確認②
	6月27日 (火)	第8回部会	・現地調査結果の検証 ・発信していく地域の魅力についての確認②
	8月1日 (火)	第9回部会	・発信していく地域の魅力についての確認③ ・発信に向けた調査についての確認① ・「第4回区民会議」報告内容等の検討
	9月7日 (木)	第4回区民会議	《調査審議状況の報告》 ・調査内容及び実施状況の中間報告
	9月19日 (火)	第10回部会	・発信していく地域の魅力についての確認④ ・区民祭におけるヒアリング調査についての確認
	10月17日 (火)	第11回部会	・区民祭におけるヒアリング調査の振り返り ・魅力の発信方法の検討① ・提言内容の検討①
	11月21日 (火)	第12回部会	・魅力の発信方法の検討② ・提言内容の検討② ・フォーラム実施内容の検討①
	12月19日 (火)	第13回部会	・提言内容のとりまとめ ・フォーラム実施内容の検討②
	1月	第14回部会	・「第5回区民会議」報告内容等の検討
	2月・3月	第5回区民会議	《調査審議状況の報告》 ・部会提言内容の報告、区民会議フォーラムの実施内容の確認
		第6期幸区区民会議フォーラムの実施	
2018年度	4月・5月	報告書のとりまとめ	
	6月	区長へ報告書の提出	

区民祭ヒアリング調査結果

1 当日の調査について

- ◆日時 平成29年10月7日（土）10時00分～16時00分
- ◆参加者 区民会議委員4人（伊藤委員、大野委員、佐野委員、神谷委員）
事務局3人（企画課：吉岡課長補佐、中村職員、安藤職員）

2 調査の様子



3 ヒアリング調査結果



- ◆主な調査対象 区民祭に親子づれで来ている人
- ◆調査実施人数 88人

問1：幸区の魅力について、「充実した子育て環境と支援、文化・商業が身近にあるまち」を実感しますか？

★回答者全員より実感するという回答

キーワード(出された意見)		意見の数
子育て環境	夢見ヶ崎動物公園	34
	南河原公園	6
	御幸公園	2
	その他公園(が充実)	8
	合計	50
キーワード(出された意見)		意見の数
子育て支援	子育て支援センター	5
	こども文化センター・わくわくプラザ	5
	イベント(子どもが参加できる)	1
	合計	11
キーワード(出された意見)		意見の数
文化・商業	ミュージア川崎	9
	川崎駅西口(一帯の施設含む)	9
	ラゾーナ川崎	4
	鹿島田駅周辺	2
	東芝未来科学館	1
	交通の便が良い	1
	合計	26
キーワード(出された意見)		意見の数
その他	防犯の取組・地域コミュニティ	3
	区役所	2
	図書館・スポーツセンター等の公共施設	2
	平坦な土地	2
	区民祭	1
	道路がきれい	1
	治安が良い	1
	合計	12

実感する魅力の傾向は子育て環境に関するキーワードが50件で最も多く、その中でも「夢見ヶ崎動物公園」が34件と、大半を占めています。

子育て支援に関しては、子育て支援センターやこども文化センターに関するキーワードが出ました。

文化・商業に関しては、ミュージア川崎や、ラゾーナ川崎など、川崎駅西口に所在するキーワードが26件中23件挙がりました。

★実感する理由については、部会で発信しようとしている魅力とそれぞれ同じ傾向となりました。

問2：「充実した子育て環境と支援、文化・商業が身近にある最幸のまち・幸」を区民に発信したいと考えていますが、どんな方法で発信すれば、キャッチできると思いますか？

キーワード(出された意見)		意見の数
電子媒体	ホームページ	23
	SNS	25
	合計	48
紙媒体	チラシ	28
	ポスター	3
	広報紙(市政だより含む)	20
	新聞	7
	地域情報誌(冊子)	5
	合計	63
その他	口コミ	6

電子媒体に関しては、ホームページとSNSがほぼ同数となっています。

SNSに関しては、スマホで気軽に見られることや流行っていることも意見として聞き取れました。

紙媒体に関しては、チラシや広報紙が多く出ました。

チラシに関しては、保育園でよく受け取ることや、ポスティングされたものをよく見るということを意見として聞き取れました。

また、民間企業等が発行している地域情報誌についても、地元のお店の情報が載っていることからよく読むといったことを聞き取れました。

★伝わる発信方法については、紙媒体と電子媒体に大きく分けられました。

**問3：区の魅力について広報誌、情報誌、チラシなどで配布する場合にはどのような場所
が受け取りやすいと感じますか？**

キーワード(出された意見)		意見の数
民間商業施設	スーパー	38
	コンビニ	27
	その他民間商業施設	3
	合計	68
幼稚園、保育園、学校	保育園	5
	学校	3
	幼稚園	2
	合計	10
子育てサークル・子育てサロン	子育てサークル	2
	子育てサロン	4
	合計	6
子育て支援センター・こども文化センター	子育て支援センター	5
	こども文化センター	2
	合計	7
駅および駅周辺		9
公共施設	区役所	14
	図書館	4
	市民館	1
	社会福祉協議会	1
	合計	20
ポスティング		5

民間商業施設に関するものが最も多く、その中でもスーパーが38件挙がりました。

保育園や子育てに関する施設に関しては回答数としてはそれほど多く挙がりませんでした。が、保育園など、必ず立ち寄るようなところで紙媒体が配布されているとキャッチしやすいという意見が聞き取れました。

区役所が14件挙がっており、手続きなどの来庁時に配布されれば情報を受け取りやすいことがわかります。

★紙媒体を受け取りやすい場所については、普段から行く場所で配布されると受け取りやすいということがわかりました。

魅力の発信についての意見交換シート

1 魅力発信方法

今後、魅力の具体的な発信方法について検討することが必要となりますが、魅力を知ってもらうための発信方法については、区民祭調査における回答でも整理したとおり、SNS・HP等の電子媒体による発信及び広報誌・情報誌・チラシ等の紙媒体による発信の大きく2つに分かれると考えます。それぞれのメリットや課題等を踏まえ、具体的な発信の手法や工夫についての検討が必要です。

意見交換メモ

2 魅力発信の主体

魅力の具体的な発信を行うにあたって、発信するための媒体を作成したり、情報を発信したりする主体について確認する必要があります。まちの活性化に向けた効果的な情報発信を行うためには行政だけで実施するには課題があることから、その課題を解決するために、魅力の発信において地域住民にどのようにかかわってもらうかについての検討が必要です。

意見交換メモ

魅力の発信について

1. 魅力発信方法

(1) SNS (facebook、twitter、instagram 等) や HP 等の電子媒体による発信

※主にSNSについて

メリット

- ・ターゲットの世代の利用者が多い。
- ・拡散性が高く拡散が成功した場合には効果は大きい。
- ・一方的でなく双方向のツールであることから、受信者からの反応がある。発信者と受信者の相互の交流ができ、つながりを持てる。
- ・インフォーマルな印象があり関心を持ちやすい。知り合いから拡散されることで親近感を持ちやすい。
- ・無料で行える。

課題

- ・特定の SNS の利用を前提としており、利用者が限定される。
- ・発信者の意図しない情報や誤った情報が混在し拡散される可能性がある。
- ・SNS における情報は流れていく情報であり、目に留まらなないと拡散してもらえない。
- ・運営に当たってプライバシー保護等の運用ポリシーの順守、ページ作成、投稿への対応、トラブルが生じた場合等、一定の能力やスキルが必要となる。
- ・新しい情報を定期的に発信しなければならず、継続的な運営を行う主体が必要となり、人員体制の確保が必要となる。

課題解決の方法(例)

- ・ターゲットに影響力を持つ人や拡散のためのテクニックを持つ人が発信に携わる。
- ・SNS 運営の能力・スキルのある人が発信に携わる。
- ・新しい情報等を常に得られる体制づくりを行う。
- ・既存の媒体を活用する。

参考：区内における既存の SNS

- ・川崎市 7 区役所こども・子育て支援情報 (facebook・twitter)
- ・幸区盛り上げ隊 (市民活動団体) facebook



(2) 広報誌・情報誌・チラシなどの紙媒体による発信

メリット

- ・ツールが不要であり、誰でも見ることができ、より多くの人に見てもらうことが可能。
- ・ターゲット以外にも見てもらえる。（高齢者等、子ども等）
- ・直接手に取ってみることができ、見やすい、手軽にキャッチしてもらえる。
- ・発信者が伝えたい、伝わってほしい内容を意図的に伝えられる。
- ・作製が比較的容易、SNS 等に比べ技術力を要しない。

課題

- ・SNS 等と比べると拡散力に課題がある。
- ・発信の主体が行政である場合などには、堅いイメージを持たれやすい。
- ・受信者が選択して得た情報でないため、ターゲットに興味を持ってもらえない、効果的にキャッチしてもらえない可能性がある。
- ・一方向の発信となり、受信者の反応が見えづらい。
- ・設置・配布する場所についての検討が必要となる。

課題解決のための方法（例）

- ・ターゲットに影響力を持つ人や興味を持ってもらうためのテクニックを持つ人が発信に携わる。
- ・伝えたい魅力だけを記載するだけでなく、ターゲットが興味を持つようにコンテンツを充実させるほか、デザイン設置・配布の方法などを工夫する。
- ・受信者の反応を得るための調査や、受信者から感想・意見を聴取するなどの場をつくる。

参考：他市・他区の情報誌

- ・itappy（企画・編集：板橋区）
- ・ぐるっとみやまえ（企画・編集：みやまえ情報ラボ（区民会議発の市民活動団体））

2. 魅力発信の主体

(1) 魅力発信のために行うこと

- ・発信する具体的な内容・コンテンツの決定、取材、デザイン、編集作業など
- ・発信の仕方の工夫（紙媒体：設置・配布にあたっての工夫、SNS：拡散のための工夫）
- ・発信後に情報がターゲットにどのようにキャッチされているかの確認など

(2) 行政による発信の課題

地域の魅力の発信については、行政においても、これまで既存の事業として実施しているところであり、今後区民会議の提言を受けてさらなる魅力発信を行う必要があると考えますが、行政による発信には次のような課題があると考えられます。

・発信できる内容に多様性を欠く懸念

発信できる内容に一定の制約があり、行政が主体となった取組以外は発信しづらいため、表面的・画一的な内容になる懸念がある。

・地域の多様で細かなニーズをとらえることに課題

新しい情報、地域での関心事など地域住民でしか感じられない生の声を捉えるのは難しく、ターゲットの目線に立った、ニーズをとらえた発信を行うことに課題がある。

・堅いイメージを持たれやすい

このことにより、親近感をもたれづらくなる懸念がある。

・一方的な発信で終わってしまう懸念

行政からの一方的な発信で終わってしまう懸念があり、地域住民に愛着を持ってもらい、自らがまちを活性化するといった目的に結びつかない可能性がある。

このような課題を解決し、地域の活性化につながるような魅力発信を行うためには、地域住民の協力を得ることが重要になると考えられます。

また、区民会議のテーマである「協働による取組の可能性」や「区民の主体性」といったことを踏まえても、魅力の発信には地域住民がかかわることが望ましいと考えます。どんな人にどのようにかかわってもらうかの検討が、より効果的な発信を行うために必要と考えます。

提言とりまとめに向けた論点（ポイント）

1 魅力発信の目的

幸区に愛着を持ってもらい、住み続けてもらう。また愛着を持ってもらうことでまちの活性化につなげる。

2 魅力発信のターゲット

幸区の魅力を発信する対象は 30,40 代の子育て世代を中心とする
（30,40 代に PR することにより親世代にも広がることが期待できる）

3 発信する魅力の内容

・子育て環境

夢見ヶ崎公園などの 3 大公園や特徴的な公園等の遊び場があることや、市民と行政の協働により子どもが思いっきり遊べる場所が提供されていることで、親子が楽しく安心して遊ぶことができることなど

・子育て支援

たくさんの地域住民やボランティアの協力による様々な取組が展開しているなど地域で子育てを助け合う風潮があることや、子育て支援センターが充実しており、各子育て支援センターで独自性を持った取組が展開されていることなど

・文化と商業

ミュージア川崎のような音楽を鑑賞できる施設や、東芝未来科学館や K²（ケイスクエア）タウンキャンパスの子ども向けイベントなど、一流の文化や先端的な科学にふれあえる場が身近にあり、子どもの情操教育などによいことや、大型の商業施設が充実しているなど、生活の利便性が非常に高く、交通アクセスも充実していることなど

これらをまとめた「充実した『子育て環境と支援、文化・商業』が身近にある最幸のまち・幸」という魅力をターゲットに伝わるよう発信する。

4 発信の手法、主体（提言を受けた実践活動をイメージしながら）

1～3については、これまでの調査審議の中で議論をしました。

4については、提言のとりまとめに向けて、今回以降、審議を進めていきます。

提言：

[illegible]

会 議 録

会議名称	第6期幸区区民会議 第10回専門部会（魅力発信でつなぐ まちの活性化部会）
日 時	平成29年9月19日（火）18：30～20：00
会 場	幸区役所 4階第4会議室
出席者	●区民会議委員（50音順） 神谷修委員（部会長）、阿部稔子委員（副部会長）、伊藤善通委員、大野勝彦委員、佐野禎彦委員、中原敏子委員、成川慎一委員（全体会議委員長）、松井節子委員（全体会議副委員長） ●事務局 幸区役所 田村副区長 幸区役所まちづくり推進部企画課 岸課長、吉岡課長補佐、安藤職員、中村職員 （株）社会空間研究所 中島氏、田上氏
欠席者	高橋希委員
傍聴者	なし
配布資料	●資料1 「魅力発信でつなぐ まちの活性化部会」調査審議スケジュールイメージ ●資料2 発信する幸区の魅力（充実した「子育て環境と支援、文化・商業」が身近にある最幸のまち・幸）について ●資料3-1 幸区民祭におけるヒアリング調査（案） ●資料3-2 ヒアリング調査の実施方法及び内容について ●資料4 魅力の発信方法について ●参考資料1 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて ●参考資料2 第9回専門部会（魅力発信でつなぐ まちの活性化部会）会議録 ●参考資料3 第6期幸区区民会議委員・参与名簿 ●その他資料 平成27年度宇都宮ブランド戦略の事業報告
議 題	（1）発信していく地域の魅力について （2）魅力発信に向けた調査について （3）魅力の発信方法について

決定事項	(1) 発信していく地域の魅力について ・資料2をもとに発信する魅力について確認し、基本的な内容については資料のとおりとし、詳細な文言について修正することとした。 (2) 魅力発信に向けた調査について ・幸区民祭に係る当日のヒアリング参加体制について、次のとおり決定した。 10月7日午前(10時～13時) 伊藤委員・大野委員・松井委員 10月7日午後(13時～16時) 神谷部会長・阿部副部会長・佐野委員 (3) 魅力の発信方法について ・資料4により発信方法について共有・検討した。 ・今後、区民祭のヒアリング調査の結果も踏まえ具体化していくことを確認した。
会議の内容及び 主な発言	(1) 発信していく地域の魅力について ●事務局より資料2について説明した。 ○資料2「発信する幸区の魅力について」に関して、発信すべき内容や表現等について確認、修正箇所の検討を行った。 〈主な意見〉 【発信する魅力の文言等修正について】 ・2ページの「■文化と商業が充実したまち幸」の1行目に、「JR川崎駅西口には、ミューザ川崎…」と記載があるが、そこにK²(ケイスクエア)とある。K²は、新川崎にあるので、この文章の表現を修正してほしい。 ・同じく2つめのところに「川崎駅だけでなく横須賀線の新川崎駅が区内にあり、東京・横浜にすぐに行ける」と表現されているが、横須賀線と湘南新宿ラインに触れてほしい、新宿・渋谷に行けるので、「東京・新宿・横浜に短時間で直行で行くことができる」といった形で、新宿というワードと湘南新宿ラインを入れてほしい。 ・このページの下意見のところに「ペDESTリアンデッキなどの整備が充実しており」とあるが、整備が充実しているという表現を変えるべき。 ⇒「JR川崎駅周辺の整備が進んでおり」とあるが、西口は今整備をしているので、「設備が充実」というように修正してほしい。 ・1ページの意見＜その他＞の中に新川崎操車場と出ているが、操車場ではないのではないか。 ⇒ 操車場跡地である。 ⇒ 新川崎操車場は、写真を撮るスポットだと認識していたので、スポットという書き方のほうが良いと思う。 ・小向厩舎との記載があるが、馬は見られないのではないかと。 ⇒ 厩舎内は関係者でないと見られないが、トレーニングコースでは馬が見られる。 ・その下の多摩川についての記載は、多摩川グラウンドとランニングコースと2

つに分けて、表記したほうが良いと思う。

- ・2 ページ「■子育て支援が充実したまち幸」について、各地区、社会福祉協議会が主催で子育て支援をしているので「子育て支援に関わる職員、地域住民、ボランティア等」のところに地区社協を入れるべきではないか。表現を工夫して欲しい。

- ・1 ページ「■子育て環境が充実したまち幸」のところで、御幸公園は、「大きな広場で思いっきり身体が動かせる」と記載されているが、何をもって身体が動かせるのか。こういう遊具があるとか、具体的に記載しないと分かりにくい。

(社会空間研究所) 資料2の見方についてだが、太枠の四角の中の記載が外に出てくるものであって、薄い四角は今まで出された意見である。

- ・2 ページ「■子育て支援が充実したまち幸」の1行目に民生委員と記載しているが、民生委員だけでよい。

⇒ 民生委員児童委員をひとくくりにして表現するようになっているので、子育て支援から考えても、民生委員児童委員と入れた方がよい。

(2) 魅力発信に向けた調査について

- 資料3-1及び3-2について事務局より説明した。

○幸区民祭において実施するヒアリング調査概要について、協議・確認するとともに、参加体制を次のとおり決定した。

■幸区民祭におけるヒアリング調査

○ヒアリングの実施方法とヒアリングの内容について確認した。

- ・10月7日(土)10時から16時にヒアリングを実施する。
- ・ヒアリングに協力して頂いた来場者に夢見ヶ崎動物公園のボールペンを配布。

○当日のヒアリング調査の参加体制

⇒ 10月7日午前(10時～13時) 伊藤委員・大野委員・松井委員

⇒ 10月7日午後(13時～16時) 神谷部会長・阿部副部会長・佐野委員

〈主な意見〉

【実施方法・内容について】

- ・30代～40代を中心に子育て世代にヒアリングするというよりは、全世代にやるほうがいいのではないかと。どうして30代～40代が対象になったのか。

⇒ 基本的には、子育て世代に情報発信をしていくために設定している。

⇒ 全世代もよいと思うが、子育ての環境や支援策を聞いた場合、対象を限定したほうが答えやすいのではないかと。

(3) 魅力の発信方法について

- 事務局より資料4について説明した。

○魅力発信について、今後部会で検討していく為に、魅力発信の対象・目的について改めて確認した。

- ・対象は、30代～40代の子育て世代。
- ・目的は、対象となる人に区に住み続けてもらうこと。

○魅力発信手法の方向性を共有した。

○幸区民祭のヒアリング調査の結果を得て、具体的な発信手法の検討をすることとした。

〈主な意見〉

- ・アンケート調査等で対象とした方の大半が区の居住歴が10年以下であったことから、区の魅力を認知してもらう取り組みを行う必要がある。
- ・最終的な目的は、区に住み続けてもらう事なので、区に愛着・誇りを持つためには、魅力を実際に体験してもらう必要がある。

■他都市のブランド戦略事業の紹介

●コンサルタントより、その他資料「平成27年度宇都宮ブランド戦略の事業報告」について説明した。

〈説明の概要〉

- ・魅力の発信を行政と民間の協働で行う仕組みを作っている。
- ・フェイスブックを活用しての発信・運営。
- ・フリーペーパーの利用、掲載の検討。
- ・体験した情報をメディアを通じて発信。
- ・宇都宮のイメージをキャッチフレーズにして、ロゴ化。市民に親しんでもらっている。平成28年度には、ピンバッジにして配っている。
- ・地元メディアの活用。マスコミやタウン誌に取り上げてもらって、発信する。

〈主な意見〉

- ・自分自身ではフェイスブックに登録はしていないが、若い方はどうなのか。
⇒ フェイスブックは一定の方しか使っていないようなツールなので、全体に向けてという時に検討が必要である。
- ・区から発信するのはSNSではなくて、紙媒体やHPで行って、それを受信した個人がどうやってそれを見るかが重要ではないか。
- ・宇都宮ブランドの場合、キーワードがダブルプレイスということで、地域で行ったり来たりするのは面白いと思う。幸区の場合、魅力発信の目的が、住み続けてもらう事に限定しているが、個人が発信する時も区の中だけではなくて、他区や他市へも幸区の魅力を広げていくことが大事である。
- ・認知してもらうための取り組みとしては、宇都宮の中で、①⑥⑦⑨⑪が参考になると思う。宇都宮では、対象に東京圏を置いてアピールの対象としているが、

	幸区でやろうとしている目的とは、少し違う。区内への発信が結果としては必要だと考える。 ・愛着の為に体験してもらうのを実際に提案するのか。ここでは認知してもらう方法ではないか。 （事務局）魅力の発信に結びつけば良いと思う。 （社会空間研究所）魅力に関して活動している人達・団体が区内に沢山いて、行われているイベントの案内（ペーパー）等の情報につなげる必要がある。 ・見る・知るだけでは区に対しての愛着まで至らなくて、体験・体感することによって、愛着が生まれるのではないか。そこにつながる情報発信をすることによって、実際の体験につながると、「幸区いいね」、「ずっと居ようかな」ということになっていくのではないか。 ・フェイスブックで発信しても、それは区内にとどまらない。 ・（社会空間研究所）区民祭のヒアリング調査で、どこだったら情報がキャッチしやすいかという質問がある。また、冊子等をどこに置いたら効果的なのか等を実際に聞けるので、答えがわかってくると思う。 ・日吉の「わっ」の情報発信は、どのように行われているのか。 ⇒ フェイスブックには投稿していて、多いときは 800 人くらいに見てもらっている。一方で、「お散歩に行こうね!」や「市政だより」を見て来てくる人は結構多い。 ・フェイスブック等は、仲間内や目的があって集まっている人達に流すにはとても良いツールだと思うが、新たなターゲットを掴むのは大変かなと思う。 （社会空間研究所）フェイスブックの中にカテゴリーごとにグループを作っていて、1 つのグループで情報を発信すると、他のグループへも情報があがるので、興味の無い方にも情報を届けられるという便利さがある。 ⇒ フェイスブックは使うために法則があると思うので、一番良いのは誰でも取りに行ける意味で考えると HP に掲載することだと思う。HP の窓口を入っていきやすい、誘導しやすいデザインにすると良いと思う。 ⇒ 「区民会議」で HP に載ると堅くてとっつきにくいと思うので、子育て世代の方に親しみやすいキャッチフレーズにすると良いと思う。 ・口コミで、子育てをやられている団体さんに広がっていくと良いと思う。そういった所に冊子（チラシ）等を置いてもらうことが重要だ。 （社会空間研究所）具体的な話については、区民祭の結果を踏まえて、また事例を見ながら検討することができると思う。 以上
--	--

だい 6 き さいわいくく みん かい ぎ い ん さん よ め い ぼ
第6期幸区区民会議委員・参与名簿

【委員(部会別、50音順)】

ひと に や さ しい 交通 安全 部会 (A 部会) (あんぜん あんしん ひと 安全・安心で人にやさしいまちづくり)		
審議テーマ		
○交通安全対策の推進		
	し め い 氏名	す い せん だ ん たい こう ぼ く ち ェ う す い せん 推薦団体・公募・区長推薦
1	あ お き はる ひ こ 青木 晴彦	さい わ い く し かい 幸区医師会
2	あ べ の り ひ ろ 阿部 法弘	さい わ い く き ェ う ぎ かい 幸区PTA協議会
3	い い じ ま た だ お 飯島 忠男	こ う ぼ 公募
4	お の はる こ 小野 晴子	こ う ぼ 公募
5	か ね だ さ と み 金田 さとみ	さい わ い ぐ か い せ ん ぐ ち ェ う かい 幸区子ども会連合会
6	ケオパサート ラツアミチャン	く ち ェ う す い せん た ぶ ん か き ェ う せい 区長推薦(多文化共生)
7	さ か ぐ ち い さ お 坂口 功	さい わ い く ろ う じ ん れ ん ぐ ち ェ う かい 幸区老人クラブ連合会
8	し ぶ た に た み え 渋谷 多美枝	こ う ぼ 公募
9	た か は し み さ こ 高橋 美三子	さい わ い く ち ェ う づ う あ ん ぜん た い さ く き ェ う ぎ かい 幸区交通安全対策協議会
10	は し も と ふ み お 橋本 文夫	さい わ い か せ や ま かい さいわい加瀬山の会
11	み う ら た だ か ず 三浦 忠一	さい わ い く じ し ゅ ぼ う さい れ ん ら く き ェ う ぎ かい 幸区自主防災連絡協議会

へいせい 29 ねん が つ に ち げ ん ざ い
平成29年10月1日現在

み り ェ く は つ し ん ま ち の かつ せい か ぶ かい ぶ かい 魅力発信でつなぐ まちの活性化部会(B部会) (さい わ い く み り ェ く は つ し ん ち い き 幸区の魅力発信と地域コミュニティの活性化)		
審議テーマ		
○地域の魅力発信		
	し め い 氏名	す い せん だ ん たい こう ぼ く ち ェ う す い せん 推薦団体・公募・区長推薦
1	あ べ と し こ 阿部 穂子	ひ よ し 日吉のわッ
2	い と う よ し み ち 伊藤 善通	こ う ぼ 公募
3	お お の かつ ひ こ 大野 勝彦	さい わ い く ぼ ご し かい 幸区保護司会
4	か み や お さ む 神谷 修	く ち ェ う す い せん さ ん ぎ ェ う 区長推薦(産業)
5	さ の よ し ひ こ 佐野 禎彦	さい わ い く み ん せい い い ん じ ェ う い い き ェ う ぎ かい 幸区民生委員児童委員協議会
6	た か は し の ぞ み 高橋 希	ひ よ し し ェ う て ん が い れ ん ぐ ち ェ う かい 日吉商店街連合会
7	な か は ら と し こ 中原 敏子	さい わ い く し ェ ェ かい ふ く し き ェ う ぎ かい 幸区社会福祉協議会
8	な り か わ し ん い ち 成川 慎一	さい わ い く ち ェ う ない かい せ ん ぐ ち ェ う かい 幸区町内会連合会
9	ま つ い せ つ こ 松井 節子	さい わ い く ぶ ん か き ェ う かい 幸区文化協会

【参与(50音順)】

	し め い 氏名	し ェ ぞ く 所属
1	お だ り え こ 小田 理恵子	か わ さ き し ぎ かい ぎ い ん 川崎市議会議員
2	か ぶ ら き し げ や 鏑木 茂哉	
3	か わ の た だ ま さ かわの 忠正	
4	ぬ ま ざ わ か ず あ き 沼沢 和明	
5	の だ ま さ ゆ き 野田 雅之	
6	や ま だ ま す お 山田 益男	
7	わ た な べ ま な ぶ 渡辺 学	

	し め い 氏名	し ェ ぞ く 所属
1	た な か と く い ち ェ う 田中 徳一郎	か な が わ け ん ぎ かい ぎ い ん 神奈川県議会議員

発信する幸区の魅力について

充実した「子育て環境と支援、文化・商業」が身近にある最幸のまち・幸

■子育て環境が充実したまち幸

- ・幸区には、「夢見ヶ崎公園（加瀬山）」「南河原公園」「御幸公園」の大きな公園が3つあり、区民の憩いの場であることや、たくさんの親子連れが思いっきり遊んでいる。
- ・夢見ヶ崎公園（加瀬山）は無料で身近に動物を見たり触れ合えるほか、歴史的な資源が多く、幸区の歴史を学ぶこともできる。また大きな広場で安心して思いっきり遊ぶことができる。
- ・御幸公園は梅や多摩川の景観を楽しめるほか、大きな広場で思いっきり身体が動かせる。
- ・南河原公園は充実した遊具がある広い公園であり、子どもが自由に遊べるほか、春の桜がすばらしく、木陰がたくさんあるなど、休んだり憩うことができる。
- ・3大公園の他にも電車を間近で見れる新川崎ふれあい公園などの特徴的な公園があったり、珍しい電車を見ることができると新川崎の操車場跡地があるなど、子どもに人気の遊び場なども充実している。
- ・市民グループが実施しているプレーパーク、おでかけほかほかなど、市民と行政の協働により子どもが思いっきり遊べる場所が提供されている。

[これまでの調査や部会で出た魅力についての意見（子育て環境）]

＜公園・緑地等全般＞

- ・子どももおとなも思いっきり遊べる公園が多い。広めの公園をはしごでき、一日中遊ぶことができる。
- ・公園にはたくさんの人が集まっていて、仲間ができる。

＜夢見ヶ崎公園＞

- ・楽しいイベントが公園内で開催される。無料で参加できる。
- ・動物公園は無料で、身近にたくさんの動物を見ることができる。子どもの体験や学びの場として良い。
- ・広くて自然豊かでお散歩やピクニックに最適。春は桜がきれいで草木で季節を感じられる。
- ・歴史的な資源が多く、幸区の歴史を学ぶことができる。
- ・子どもが広場で思いっきり安心して遊ぶことができる。

＜南河原公園＞

- ・広くて見晴らしがよく子どもが自由に思いっきり安心して遊べる。
- ・大きな遊具があり、水遊びもできる。
- ・春の桜がすばらしく、木陰がたくさんあり、休んだり憩うことができ、家族で楽しむことができる。

＜御幸公園＞

- ・梅林（梅を楽しむこと）や子どももおとなも思いっきり身体が動かせる。
- ・多摩川の雄大な景観を楽しむことができる。

＜その他の公園＞

- ・さいわいふさと公園（土管があり自然を生かしていてよい、季節の植物がたくさん植えられているので園芸好きな人にオススメ、子どもが自ら考えて遊ぶことができる、泥遊びや木の工作が良かった）
- ・さいわい緑道（地域の方のおかげで花壇がきれい、子どもを遊ばせるのに最適。）
- ・新川崎ふれあい公園（電車が近くに見える）
- ・下平間春風公園（広々していて、見通しが良く子どもが自由に遊べる）
- ・塚越3丁目さくらの公園、鹿島田2丁目公園、小向第一公園・・

＜その他＞

- ・新川崎操車場でいろいろな電車が見られ、電車好きの子どもが喜ぶ。
- ・小向厩舎がありトレーニングコースでは馬を見ることができる。
- ・多摩川グラウンドではサッカー、野球、ゴルフ、テニス、ランニングコースでは散歩、ランニングなど色々できる。自然・四季を感じる。

■子育て支援が充実したまち幸

- ・地域コミュニティが強く、世代間交流が活発で、地域で子育てを助け合う風潮があり、たくさんの地域住民やボランティア、民生委員児童委員、社会福祉協議会等の協力により恵まれた子育て支援環境が整っている。
- ・子育て支援にかかわる職員、地域住民、ボランティア等の人と人とのつながりが強い。
- ・子育て支援センターが充実しており、各子育て支援センターで独自性を持った取り組みが展開されている。また子育て支援センター等の子育て支援に関わる職員のレベルが高く保たれている。そのため、子育てについて相談しやすく、相談の場を通じて同世代の子どもを持つ親同士の交流が生まれている。
- ・おこさまっぷや Father's book を代表とする、お母さん、お父さんにわかりやすい子育て情報発信が充実している。

これまでの調査や部会で出た魅力についての意見（子育て支援）

＜地域住民による支援＞

- ・子育て支援にかかわる職員、地域住民、ボランティア等の人と人とのつながりが強い。
- ・地域住民やボランティア、民生委員の協力により恵まれた子育て支援環境が整っている。（母親クラブ、子育てフリースペース、親子のたまり場、塚越の陽だまり、原町カフェ等）
- ・赤ちゃん相談会（子育てで不安なことを気軽に相談できる。交流ができる良い空間）

＜子育て支援センター・こども文化センター＞

- ・子育て支援センターが充実しており、子育てについて相談しやすい。
- ・子育てセンターやこども文化センターで、同世代の子どもを持つ親同士の交流が生まれる。

＜行政等の取組＞

- ・おこさまっぷや Father's book のような充実した子育て情報の発信がされている。
- ・区の子育て施策が充実している。
- ・お散歩に行こうね（散歩がてら出かける場所が紹介されており、同じ子供を持つ友人ができた。）
- ・パパッとサタデー（土曜日のイベントで働いていても参加できる）

＜その他＞

- ・親子カフェ kirakira（元保育士さんが営むカフェ。子も親も癒される）

■文化と商業が充実したまち幸

- ・ミューザ川崎のような一流の音楽を鑑賞できる施設や、東芝未来科学館や慶應義塾大学 K²（スクエア）タウンキャンパスの子ども向けイベントなど、文化や科学にふれあえる場が身近にあり、子どもの情操教育などにより。
- ・JR 川崎駅周辺の設備が充実しており、首都圏でも有数の商業施設であるラゾーナ川崎など大型の商業施設が充実しているなど、生活の利便性が非常に高い。また、ターミナル駅として川崎駅の他にも新川崎駅があることから湘南新宿ラインや横須賀線も利用でき、東京・新宿・横浜に短時間で直行で行けるなど、交通アクセスが充実している。
- ・小向の獅子舞など、地域の伝統も残っており、大型商業施設や高層住宅が多く整備されている都会的な地域であるが、昔ながらの文化も大事にされている。

〔これまでの調査や部会で出た魅力についての意見（文化・商業）〕

＜文化・科学＞

- ・子連れでオーケストラを楽しむことができる。無料の音楽イベントがある。リーズナブルな値段で気軽にクラシックに触れられる。音楽のまち川崎の象徴。（ミューザ川崎）
- ・入館料無料で、色々な科学の知識を楽しく学べる。家電品の歴史の展示や実験ショーは大人から子どもまで楽しめる。（東芝未来科学館）
- ・K²（スクエア）タウンキャンパスで毎年開催される「科学とあそぶ幸せな1日」が子どもの体験の場として良い。
- ・小向の獅子舞については観光協会もバックアップしており、都会だが文化も残っている。

＜商業・交通利便性＞

- ・子供用品やその他何でもそろっている。子ども向けのイベントや子どもが遊べる場所がある。子どもに親切なつくりになっている。映画館やイベントスペースもある。（ラゾーナ川崎）
- ・ペDESTリアンデッキなどの整備が充実しており、ベビーカーでの散歩や買い物しやすい。（川崎駅）